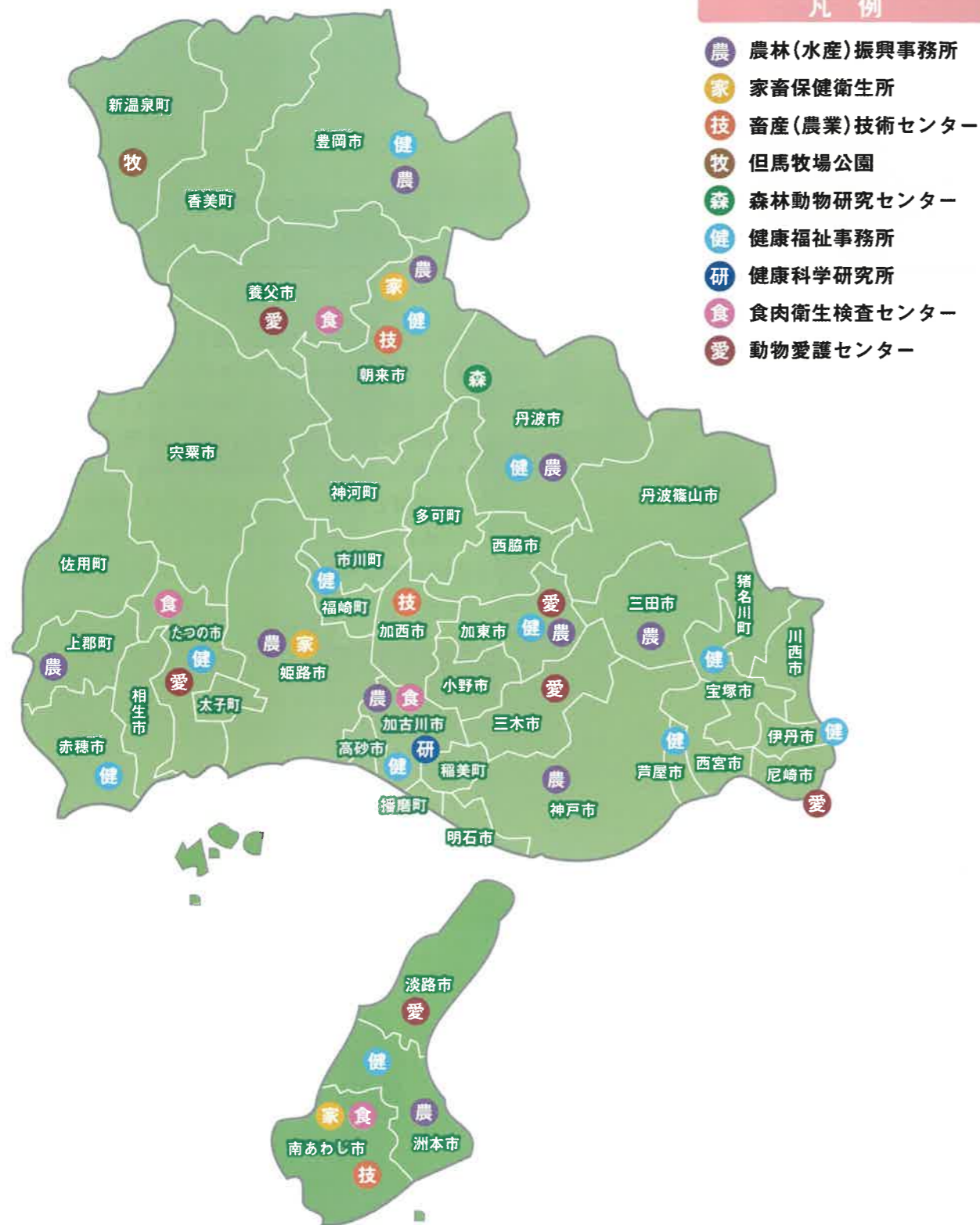


## 地方機関配置図



(お問い合わせ先)

- 兵庫県 農林水産部 総務課 総務班
  - 兵庫県 保健医療部 総務課 総務班
- 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
TEL.078-341-7711 (代表)

03農P2-094A4

# 兵庫県 獣医師募集

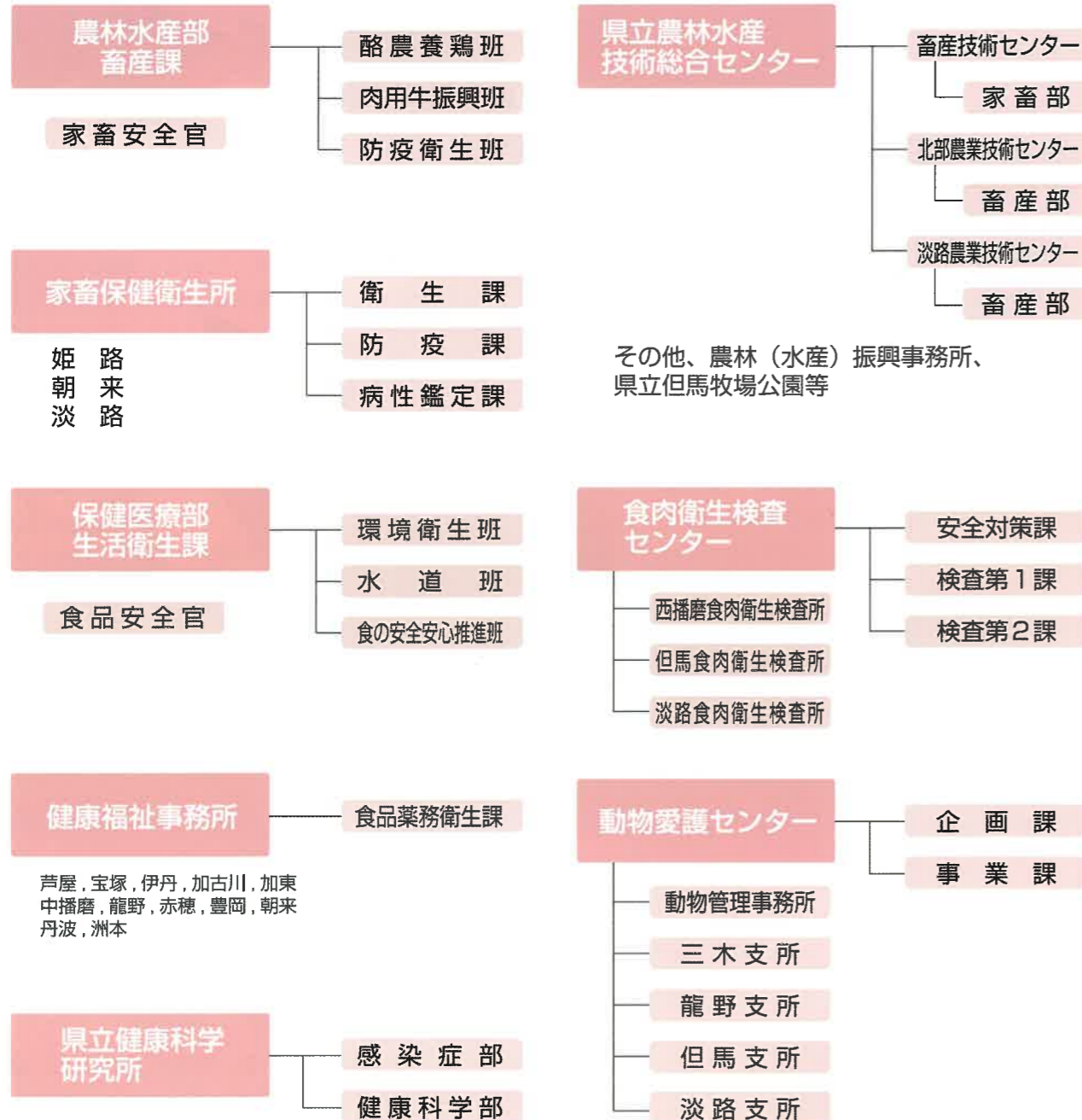
令和4年



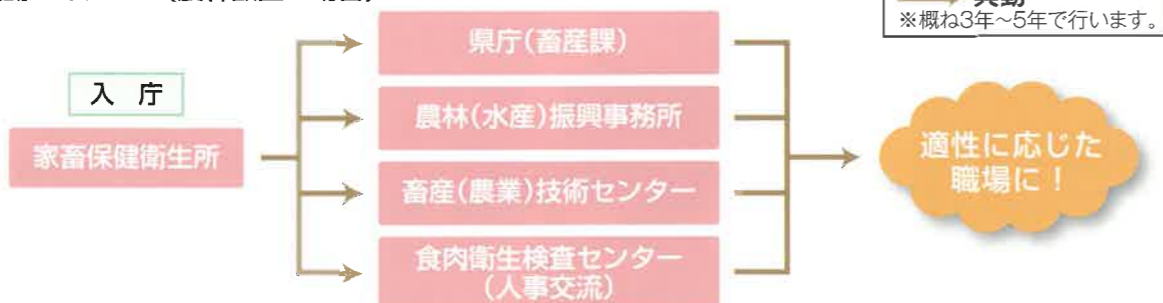
家畜保健衛生所  
農林水産技術総合センター  
食肉衛生検査センター  
動物愛護センター  
健康福祉事務所(保健所)  
健康科学研究所

# 獣医師職員の配置機構

獣医師職員数:219名(農林獣医96名+衛生獣医123名) 令和3年4月1日現在



## 異動のイメージ(農林獣医の場合)



## 気になる疑問にお答えします。



### Q 初任給はどれくらいですか?

A 大学新卒者の初任給(例)は、次の表のとおりです。  
(令和4年4月現在)

区分	初任給(地域手当・初任給調整手当含む)
行政職	260,692円
研究職	275,850円

令和2年4月1日より  
初任給調整手当を創設しました!

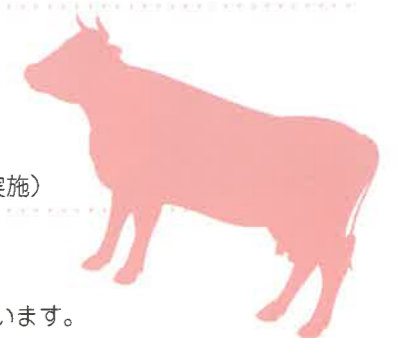
- ※1 地域手当は、勤務地により給料月額額の4.4%~9.4%となっています。
- ※2 初任給調整手当は上限35,000円、最長15年間支給されます。
- ※3 経験に応じて、左記の額に加算される場合があります。このほか、住居手当、扶養手当、通勤手当、期末・勤労手当(令和3年度実績4.30ヶ月分)などの手当があります。

### Q どのような研修がありますか?

A 新任職員が受ける研修は、前期、後期にそれぞれ行われる予定で、さまざまな職種の新任職員同士と一緒に学んで交流できる機会となっています。  
また、昇任時などの節目にも階層別研修を実施しているほか、意欲のある方には海外や、国への派遣研修の制度も設けられています。

### Q インターンシップの受け入れについて

A 随時希望に応じたプログラムを作成し受け入れています。  
詳細については、農林水産部または保健医療部までお問い合わせください。  
※令和2年度受け入れ実績:12名(令和3年度は新型コロナ対策のため未実施)



### Q 住むところはありますか?

A 世帯用及び単身用の職員住宅が神戸市内をはじめ、県内各地に設けられています。  
※実質家賃:単身1万円程度/月

### Q 採用試験の内容について教えてください。

A 筆記試験:獣医師に必要な専門知識に関する記述式試験を行います。  
口述試験:知識、態度、表現力、積極性などについて、個別面接を行います。  
適性検査:職務の遂行に必要な適性について検査を行います。



### Q 昇任システムについて教えてください。

A 職制は、本庁の場合、職員、主任、主査、班長、副課長、課長等の順になっており、昇任は、勤務成績、経歴などの総合評価により決定されます。  
また、希望のポストを自己申告する制度も設け、積極的に職員の登用を図っています。

### Q 出産や子育て支援について教えてください。

A 妊娠中や出産・職場復帰後の充実した休暇・休業制度(有給含む)があり、その後も子育てのための短時間勤務や看護休暇などが取得できます。  
また男性職員の育児休業制度もあり、働きやすく安心して子育てができる職場環境が整備されています。

### Q 勤務時間や有給休暇について教えてください。

A 一般的な職場では、職務は月曜から金曜までの完全週休2日制で、勤務時間8:15~17:00、8:45~17:30、9:00~17:45、9:30~18:15の4つから選択できます。  
年次有給休暇は、1年間に20日(4月新規採用は15日)あり、一定の日数を繰り越すことができます。  
そのほか、特別休暇(夏季、結婚、出産、忌引など)があります。

# 県立農林水産 技術総合センター

兵庫県の畜産に関する試験研究は、農林水産技術総合センターで実施しており、県内の3カ所(加西市、朝来市、南あわじ市)で分担してすすめています。

- 【畜産技術センター】 ①肉用牛(但馬牛)の肉質改良 ②受精卵移植 ③鶏への飼料用米給餌試験等
- 【北部農業技術センター】 ①肉用牛(但馬牛)の育種改良 ②繁殖雌牛飼養技術の研究等
- 【淡路農業技術センター】 ①酪農(乳用牛)に係る研究 ②基礎から応用分野にわたる研究等

## 美味しい神戸ビーフを お届けしたい

脂肪の質を良くするための研究も

私が勤務する畜産技術センターは兵庫県の加西市にあります。兵庫県には山田錦や丹波黒大豆など様々な特産品があります。但馬牛・神戸ビーフも全国的に有名なブランド牛肉として知られています。当センターではその但馬牛・神戸ビーフに関する飼い方や美味しい牛肉を作る技術の研究をすすめています。中でも近年は脂肪の質を良くするための研究に重点を置いています。他にも、肉の量や質などの能力に優れた雄牛を選んだり、系統を守ったりしています。牛を相手にする仕事からデスクワークまで何でもこなさなければならず、試行錯誤の毎日です。試験研究は設計した通りに結果が出なくて頭を悩ませることも多々ありますが、新しい事が見つかることもあり、とてもやりがいのある仕事です。



県立農林水産技術総合センター  
畜産技術センター  
吉田 恵実  
平成17年度採用

# 家畜保健衛生所

家畜保健衛生所を県内3カ所(姫路市、朝来市、南あわじ市)に設置しています。畜産振興を図るため、獣医学の専門知識をフルに活用し、現場の最前線で仕事をしています。

- ①家畜の伝染性疾患の検査を行う防疫業務
- ②生産性の向上を目指した衛生業務
- ③高度な診断技術を駆使した病性鑑定業務
- ④畜産物の安全確保のための安全対策業務

## 高度な診断技術を駆使した 病性鑑定業務

他県とも情報を交換、症例を積み重ねる

私が所属する病性鑑定課は、家畜の病気を診断するために細菌検査やウイルス検査、病理検査等を行っています。兵庫県は、他府県と異なり姫路、朝来、淡路に設置された3カ所の家畜保健衛生所に病性鑑定課があります。PCRなどの検査体制が充実しており、鳥インフルエンザや豚熱等の疑いがあった時は、その地域の管轄家保で検査し、早期発見や対応が可能です。担当している病理検査は、顕微鏡で組織を診断しますが、陽性や陰性などはっきりした答えがなく、主観が入りがちな検査なので、できる限り知見を広げるため、時には他県の症例なども参考に診断ができるように努めています。所内で相談しながら、あまり経験のない病気の診断ができたり、診断に基づく農場対策が功を奏して続発を抑えることができた際は、特にやりがいを感じられます。



姫路家畜保健衛生所  
寺一 未奈子  
平成27年度採用

# 県庁 畜産課

新鮮・良質で安全な畜産物の提供に向けた酪農、肉用牛、養鶏、養豚及び養蜂等畜産の振興を図るため、畜産経営の安定、家畜の能力向上、畜産環境の保全及び家畜衛生対策等に関する様々な施策を推進しています。また、獣医師や動物用医薬品取扱業者に関する指導などを行っています。

## 安全で信頼される 畜産物の生産を推進

家畜伝染病の発生、まん延の防止を

畜産課では、畜産経営の安定、家畜の能力向上、畜産環境の保全及び家畜衛生対策等に関する様々な施策を推進しています。私は、豚熱、高病原性鳥インフルエンザなどの家畜の疾病を畜産農場に侵入させないよう、飼養衛生管理を徹底するための指導や、万が一疾病が発生した際にも、早期に封じ込めてまん延させないための防疫体制の整備に携わっています。生産現場とは離れた事務作業が多い職場ですが、家畜の飼養管理や病気等について正しく伝え、法律に基づいた説明をするなど、獣医師としての知識や経験が必要とされ、学ぶことは多いです。また、他の業種の方と一緒に仕事をする機会も多く、獣医師とは異なる考え方を知ることができます。畜産業の発展を支え、安全で安心な畜産物の供給に貢献できるやりがいのある仕事です。



県庁 畜産課  
増野 遊史  
令和3年度採用

## 獣医学の知識で畜産を支える

新しい知識を習得できるのが  
公務員獣医師の魅力

公務員獣医師として働く魅力は、在学時に得た知識をそのまま業務に活かすことができる点だと考えています。私が所属する防疫課では家畜伝染病の発生を防止するため定期的に巡回指導や検査を実施しており、その中で農家さんと話す際に講義で学んだ知識が使えた場面や、研究室で得た実験手技を検査で活かすことができた場面が多々ありました。また、入庁してから覚えることもたくさんあります。牛の一般的な飼養方法などを教えたり、解剖の方法や伝染性疾患の検査など、学生時代から興味があったことについても教えてもらえる機会が多くあり、業務としてこなしていく内に技術を習得することができました。今まで得たことをベースに新しい知識や技術を習得できるのは、公務員獣医師として働く楽しみではないかと思っています。



淡路家畜保健衛生所  
齊藤 将希  
平成31年度採用

# 動物愛護センター

動物愛護センターを県内5カ所(尼崎市、三木市、たつの市、養父市、淡路市)に設置し、人と動物が調和し、共生する社会づくりに寄与しています。

- ①動物愛護思想の啓発
- ②犬、猫の譲渡
- ③負傷動物の収容等
- ④動物の適正飼養の推進
- ⑤犬、猫の引き取り
- ⑥動物取扱業の登録指導
- ⑦災害時における同行等危機管理対策
- ⑧動物由来感染症への対応
- ⑨特定動物からの侵害防止

## 人とペット動物が直面する現場

「子育て」も「仕事」も楽しみたい

私の所属する動物愛護センターでは、人と動物が調和し共生する社会づくりを目指して、人とペット動物が直面する様々な問題に対応しています。県民対応から臨床まで業務は多岐に渡りますが、保護している動物の健康管理や、動物由来感染症に関する相談など、獣医師としての知識や能力を活かすことができる仕事です。私は約20年兵庫県の公務員獣医師として働いてきました。育児と仕事の両立は大変ですが、兵庫県では出産・育児に対する支援制度が充実しており、私もこれらの制度を利用しています。また、周囲の方の理解と協力もあり、働きやすい環境が整っています。おかげさまで、子供の成長も見守りながら今まで働くことができました。これからも自分らしく働いていこうと思っています。



動物愛護センター 龍野支所

夫津木 恵子  
平成13年度採用

# 食肉衛生検査センター

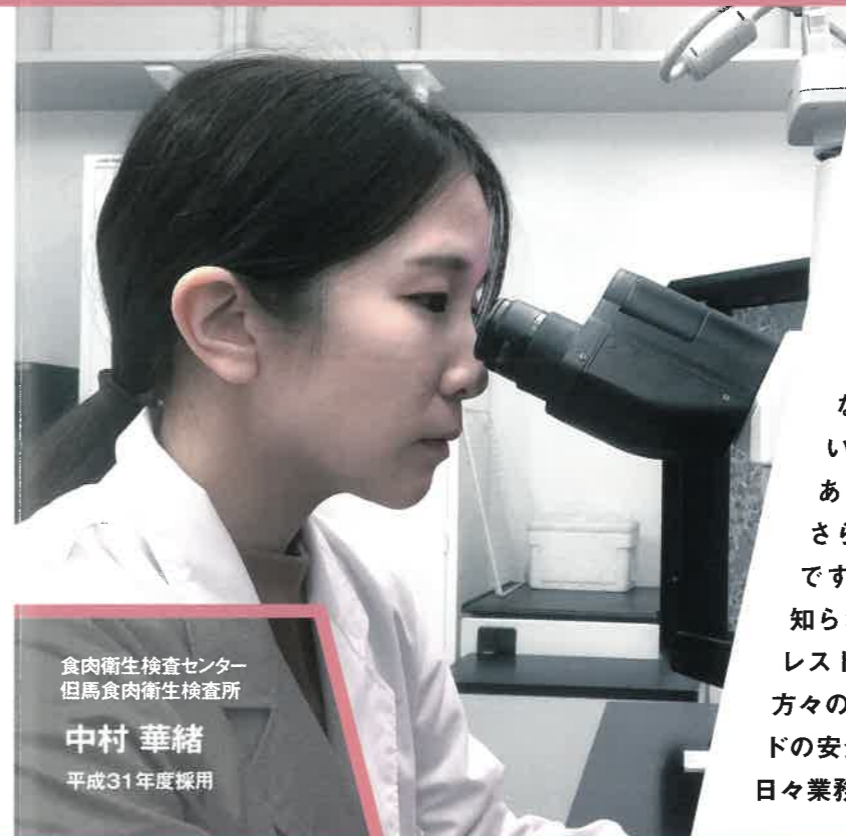
食肉衛生検査センターを県内4カ所(加古川市、たつの市、養父市、南あわじ市)に設置し、県内で処理される食肉の安全を確保しています。

- ①と畜場におけると畜検査
- ②大規模食鳥処理場における食鳥検査
- ③認定小規模食鳥処理場の監視指導
- ④HACCPに沿った衛生管理の推進
- ⑤食肉衛生検査に係る消費者啓発
- ⑥食肉衛生検査に係る調査研究

## 獣医師の立場から食肉の安全を守る

全国にも広がる兵庫ブランド

私が所属している但馬食肉衛生検査所では、食肉の安全性を確保する業務を行っています。病肉等が流通しないように食肉検査を行ったり、処理の過程で食肉が食中毒菌などで汚染されることがないように業者に衛生指導を行っています。食肉検査は県民の健康を守るために欠かせない仕事であり、細菌学や病理学の知識や技術を活かすことができ、さらに症例に取り組む度に知識が増えていくのもおもしろいです。また、兵庫県は但馬牛や神戸牛といったブランド牛で知られる畜産県で、最近では県外でも県産の肉を提供しているレストランを見かけるようになり、自分が検査した食肉が全国の方々の口に入る可能性があるのだと実感しています。兵庫ブランドの安全を守るという意味でもやりがいがあり、責任感を持って日々業務にあたっています。



食肉衛生検査センター  
但馬食肉衛生検査所

中村 華緒  
平成31年度採用

# 県立健康科学研究所

感染症、食品、医薬品、飲料水などの公衆衛生に関する行政検査及び調査研究を行い、県民の健康と生活環境を守っています。

- ①食品中の残留有害物質検査
- ②食中毒調査に係る検査
- ③食中毒・感染症予防のための機生物学的な調査研究
- ④感染症の発生動向調査と流行防止
- ⑤食品衛生検査施設等の内部点検、内部監査、外部制度管理を通じた検査結果の信頼性確保

## 新たな技術を取り入れ兵庫の食の安全を守る

新たな技術で高精度な検査も

私の所属する県立健康科学研究所健康科学部では、食品や水質、花粉などの検査を行っています。この中で私は食用肉や魚類の残留動物用医薬品検査を担当しています。今後はLC-MS/MSといった新たな技術を取り入れ、さらに迅速で高精度な検査を行えるよう研究もしています。獣医師の仕事といえば「動物の病気を治す」というイメージが強いかもしれませんが、それだけではなく「人々が病気になるように、動物に関する分野から予防を担う」という面もあると思います。私が主に行っている、抗菌性物質を対象とした残留医薬品検査は、有害な薬剤耐性菌の発生を防ぐこと等を目的としており、獣医師の「人々の病気を予防する」役割から考えても責任とやりがいのある仕事です。



県立健康科学研究所

鷺 ゆい  
令和2年度採用

# 健康福祉事務所 (保健所)

健康福祉事務所(保健所)を12カ所に設置し、県内における食品の安全確保および、生活衛生の向上に寄与しています。

- ①食品関係営業施設の許認可・監視
- ②食品、添加物等の試験検査
- ③食中毒の防止対策
- ④HACCPに沿った衛生管理の推進
- ①生活衛生関係営業施設の許認可・監視
- ②公衆浴場等の衛生対策
- ③生活環境の衛生確保

## 食の安心・安全に直結する仕事

様々な分野の専門家と仕事をして幅広い成長も

保健所の食品衛生監視員として主な業務である、食品営業施設等の許可や監視、食中毒の防止対策などは、公衆衛生学や微生物学など、大学で学んだ幅広い知識が不可欠です。例えば、スーパーなどの店舗で実際に販売されている食品を収去し、農薬や動物用医薬品の残留がないかを検査するなど、獣医師としての知識や技術を活かしながら、食の安心・安全に直結する仕事にやりがいを感じています。また、県民との距離がとても近い職場であるため、多様な意見交換もでき、日々新しい発見があったり、医師、薬剤師、保健師など様々な専門分野の人と一緒に仕事をすることで、獣医師として幅広い成長ができることも、当所で働くことの魅力の一つだと思っています。



宝塚健康福祉事務所  
(保健所)

嶋田 亮太  
平成28年度採用